



越前町  
ECHI ZEN

2011. 11 . 1  
vol.26

# 議会だより



## おもな内容

- ☆ 9月定例会報告 ..... 2
- ☆ 一般質問 ..... 3
- ☆ 議会活動 ..... 9

## 満面の笑顔!

第41回全日本中学生ホッケー選手権大会(8月12日～15日、京都府京丹波町で開催)で、見事優勝した朝日中学校男子ホッケー部

# 九月定例会報告

招集 9月20日  
会期 3日間  
(20日～22日)

## 議案審議結果

次の議案が審議され、  
全て原案どおり承認・可  
決されました。

- ① 報告…4件
- ② 議案…15件
- ③ 発議…1件

## ①報告

- 平成22年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
- 平成22年度決算に基づく資金不足比率の報告について
- 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、議会への報告
- 平成22年度越前町一般会計継続費精算報告
- 平成22年度越前町公共下水道事業特別会計継続費精算報告

## ②議案(抜粋)

- 条 例
- 越前町暴力団排除条例の制定について

暴力団排除に関し、基本理念と推進するための必要事項を定める

- 越前町税条例の一部改正について

寄付金税額控除の適用額の引き下げや町税の不申告に関する過料の見直し等を行なうもの

- 越前町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

支給対象者の拡大(兄弟姉妹を加える)

- 越前町児童館条例の一部改正について

宮崎児童館の位置の変更

- 越前町子育て支援センター条例の一部改正について

宮崎子育て支援センターの位置の変更

## 補正予算

### 一般会計

- 平成23年度越前町一般会計補正予算(第5号・6号)

### 《補正額》

2億3,796万円

### (予算総額)

128億5,947万6千円

### 歳出の主なもの

### ○総務費

○コミュニティ助成事業

ゲートボールの練習や高齢者の憩いの場、幼児や児童の遊び場として、広く区民が活用できるコミュニティ広場の整備(小樟区)

《補正額》 250万円

### ○賦課徴収一般事業

法人町民税の還付金

《補正額》571万8千円

### ○民生費

○地域支え合い体制づくり事業

高齢者等の孤立防止や日常生活の不便を解消するため、地域住民等の「つながりの力」を生かした支え合い・助け合いの体制づくりを行う

《補正額》1,650万円

### ○衛生費

○国民健康保険病院事業

## 会計負担金

《補正額》4,000万円

### ○農林水産業費

○県単林道事業

5月に発生した豪雨により被災した林道施設(三崎地係)の復旧に係る経費

《補正額》 750万円

○漁村再生交付金事業

米の浦漁港の防波堤等改良工事

《補正額》1億700万円

○漁港建設一般事業

県が行う越前漁港の内郭施設(臨港道路、岸壁、漁港施設用地等)の整備に係る費用の10%を負担する

《補正額》 2,489万5千円

### ○土木費

○町単独道路改良事業

災害防除工事(町道小樟城ヶ谷線)

《補正額》 220万円

○河川維持補修事業

小曾原川の河川改修工事

《補正額》 750万円

### ○教育費

○小学校管理一般事業

萩野小学校の暖房設備修繕

《補正額》 210万円

○中学校管理一般事業

織田中学校の放送設備修繕

《補正額》 380万円

### 《簡易水道事業特別会計》

○平成23年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

《補正額》397万6千円

(予算総額)

4億391万2千円

消費税及び地方消費税納付金

《公共下水道事業特別会計》

○平成23年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

《補正額》 1,270万6千円

(予算総額)

9億4,342万2千円

○公共下水道施設管理事業

織田浄化センターの曝気装置修繕

《補正額》 950万円

《集落排水事業特別会計》

○平成23年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

《補正額》370万1千円

(予算総額)

3億8471万2千円

消費税及び地方消費税納付金

### 《病院事業会計》

○平成23年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)

《補正額》4,000万円

織田病院の管理運営を指定管理者に行わせるための移行準備交付金

その他

○字の区域の変更について

県営中山間地域総合整備事業(鎌坂地区)に伴い、土地の区画及び形質に変更が生じたため、字の区域を変更する

○公の施設の指定管理者の指定(越前町国民健康保険織田病院)について

織田病院の管理運営について「公益社団法人地域医療振興協会」を指定管理者に指定する

③発議

○越前町議会会議規則の一部改正

全員協議会を会議規則に定め、法律上の正規の議会活動として位置付ける





安井 賢二 議員

# いっぱん質問

## 各小学校に線量計を設置せよ

安井 議員

福島原発事故の収束が見えない今日、越前町では、準立地として現在3か所（城崎小学校近く、水仙荘、役場）に、放射線を計る機械があるだけ。発がん性の影響がある放射線が、子供たちに与える影響が心配である。福島では、母親が子供を連れて避難している。町内の小学校単位で早急にモニタリングポスト（放射線線量計）を設置せよ。



織田病院に保管してあるヨウ素剤

関町長

当初予算で対応する。放射線の線量について町全体が知識を共有することが大事である。モニタリングポストのような大規模なものは難しいが、簡易の放射線線量計であれば、来年度の当初予算にて対応したい。町内8小学校下にぜひ設置していきたい。



水仙荘裏



城崎小学校下

## ヨウ素剤の適正配備を

安井 議員

ヨウ素剤は、放射線から守る予防剤である。町内の必要量1万人分が、織田病院に配備されているがなぜか。医師の診断を受けて服用するというが、各地区にも医師がいる。各地区で配備すべきだと思うが。

織田病院で一括管理している。ヨウ素剤は劇薬のため、織田病院で維持管理をしている。40歳以下1万人分2万錠を備蓄している。ヨウ素剤が必要な場合は、拠点避難場所へ医師が持っていくき服用させる。

関町長

津波の避難路として、昔使われた小路を整備し、全集落に必ず1本は確保してほしい。そして、町民の命を守る安心安全な町にして欲しい。

津波の避難路として、昔使われた小路を整備し、全集落に必ず1本は確保してほしい。そして、町民の命を守る安心安全な町にして欲しい。

安井 議員

関町長

## 海拔表示と津波の避難路の整備を

海拔表示が何か所あるが、見にくいところに表示されているのが多い、早急に鮮明なものにして欲しい。また避難所の玄関にも必ず表示して欲しい。

海拔表示はわかりやすいものに。10m、20mの海拔表示は、13集落26か所に設置してある。ぜひ、もっとわかりやすい看板・表示を設置したい。また、避難道路は、国や県の津波対策事業などを活用し整備したい。

# ん質問



笠原 秀樹 議員

## 公共施設への 財政負担軽減対策は!!

笠原議員

町内321施設について、2年前に町長は、各地区の管理公社に委託や民間に譲渡もしくは売却、貸付け、廃止、指定管理者制度を導入して現在補助率が30%、35%台の状況を改善していきたいと答えていたが、どのように改善されてきたか。

関町長

平成20年に管理運営方針を計画し、現在321施設のうち132施設に町の直営方針から指定管理者を初め、状況など方針を変えてきています。平成22年度末では56施設について達成して、その達成率は42.42%でありました。



学校給食センター



## 合併協定項目の 進捗状況はどうか!!

9施設が廃止、指定管理に移行施設は39、民間に12、公共施設管理公社に20、社会福祉協議会に5、シルバー人材センタリーに2、率にして69.6%になります。

今後学校給食センターの統合、町立保育所の統合などを考えていますので、議会の皆さんとよくご相談した上でどうするか決めて

笠原議員

4町村の合併に当たり、具体的な調整方法として合併の方式から新町建設計画まで48項目に協定が結ばれ越前町が誕生した。新町にて協議するとの項目もあったが、現在の状況はどうか。

関町長

48項目の中で1から21まではすべて協定どおり進んでおります。各種事務事業については26の細目に分かれていて、韓国ユンドックとの国際交流事業、広報広聴委員の設置、税金の全納報奨金の



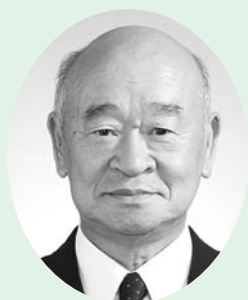
町立保育所



5年を目途にした廃止、子ども議会の設置の4項目がまだ協定どおりに進んでいないという状況です。

新町建設計画は、18年度に新しく総合振興計画を出し、事務事業は年間400から420ぐらいになります。それに従ってまちづくりを行っているところです。

未着手の点につきましては、今後、議会の皆さんともよく相談した上で、必要ということでしたらば、ぜひ順次実施していきたいと思っています。



内藤 俊三 議員

# いっば

## 職員の 職務遂行能力向上の ための人事評価を

内藤 議員

近年の地方行政を取り巻く環境の変化や地方分権が進展する中で、越前町のあすを担う職員に必要と思われる資質、理想とする職員像とはどのようなものか。

職員の能力向上の手段として人事評価制度の導入が効果的と考えるが町長の基本的な所見を伺う。

また、本町における人事評価制度の実施状況と評価結果の反映状況について伺いたい。

関町長

人事評価については職員の能力向上、人事管理を行う上で、一つのツールとして大変大事なことを考えております。

地方分権がいわれていますが、それには地方公務員の意識改革や、能力の開発ということが大変大事になってきます。特に、職員には政策の形成能力、あるいは創造性とか、あるいは柔軟性、あるいはコスト意識、あるいは住民の目線に立った行政というようなことがよく求められております。そうした意味で、この人事評価をするということは非常に大事なことでないかなと思っております。

本町におきましても、19年の4月から試行しており、23年の6月からは勤勉手当にその人事評価を反映しております。

内容的には、各課の組織管理目標シート、個人の自己申告による人事評価シートを作成して、業績評価と、能力・態度評価の両面から評価をしております。

## 行政評価制度の 導入を

内藤 議員

住民の立場に立つて、限られた予算で最大の効果を発揮できる行政サービスを実現するために、計画、実行、評価、改善というフィードバック機能を備えた行政評価制度を導入する必要があると考えているが町長の見解を伺いたい。

導入するとしたら、その時期とどのように行うか、導入しないのであれば、その理由をお聞かせいただきたい。

関町長

行政サービスが住民のニーズに的確に込んでいるか、厳しい財政状況に十分対応しているか、あるいは、住民の評価を行政に取り入れていくかどうか。あるいは、職員が自分の担当する業務内容について、絶えず見直

しを図っているかどうか。そういう点で行政評価を取り入れることは非常に大事なことと思っています。しかし、私は、今、越前町は合併して7年目を迎えて、地域地域によっていろいろな特徴的な固有の課題を持っていますので、行政評価一辺倒で効率よく進めることについては非常に疑問に思っています。

総合基本計画にしても政策体制は非常にたくさんあり、施策が全部で43

あります。その中からいくつかを選んであって、その下の事務事業について、目的、妥当性、あるいは有効性とか功利性とか、あるいは公平性、こういう個別の評価を行う。

あるいは総体的には、好転度評価とか優先度評価を行って見直しを図っていくというようなことが具体的ではないかと思っております。ぜひ本年度以降、今後5年の間にこれを取り入れてみたいと考えております。





# ん質問



橋本 守行 議員

## 東日本大震災より何を学ぶ

橋本議員

今回の福島原発のような事故が起きてしまうと、周辺住民は何十年も戻れなく、農業の復元にはどれくらいの間がかかるのか、地球環境の汚染及びガレキ等の汚染廃棄物の処理等を考えると未だ恐ろしくなります。越前町では何をすべきか町長の考えを承ります。

関町長

越前町は原発の災害から町民の生命・財産を守

り、安心・安全を確保することを首町として守って行くことが大変な責務と理解しています。

町としては、原子力防災指針、原子力防災計画の見直し、特にEPZ（緊急時計画区域）の範囲の拡大と立地の枠の適用を求めています。

また、ヨウ素剤については劇薬取扱いになっており服用するには医師の診察が必要で織田病院で一括管理をしております。

## 国道417号改良要望について

橋本議員

2、3年前から朝日観音より北側に歩道設置をお願いしているようですが、地元では工事がいつになるか分からないなら側溝の蓋掛けだけでもしてほしいと要望していますが、どうなるでしょうか。

関町長

町としても国道417号改良促進期成同盟会の中で朝日地係の歩道拡幅を要望しております。確かに議員がおっしゃっているところは、非常に傾斜が急で雨が降った日などは自転車などの通行は危ないところであります。

## マリンバコンサートの町の取り組みは

橋本議員

マリンバコンサートは旧朝日町より町おこしとして続けております。

今後、越前町としてどの様に扱っていただいいのかお尋ねします。

関町長

町としてもマリンバの魅力を通して「マリンバの町越前町」としてこれを全国に発信していきたいと思っております。できるだけ支援をしていきたいと思っています。

## 朝日地区保育所、児童館の建て替えはいつになるか。又旧朝日中学校跡地はどうなったのか。

橋本議員

この場所は戦前に女学校が出来たときに旧朝日町が借り入れた所で、順次中学校等が増えていき、また、保育園、児童館建設が計画されていると聞いております。

また、墓地周辺の計画、山車会館も手狭で老朽化

関町長

となっております。今後の工程を教えてください。

跡地の借地関係を整理して跡地の有効利用を促進するために、町施行で土地区画整理事業を計画しています。

合意を取り付けたいというところで、地権者と話し合いを進めております。それと同時に、23年度内に都市計画、事業計画、施行規定、許可申請書を決めていきたいと思っておりますので、それぞれの段階で議会とよく相談をして決めていきたいと思っております。

しかし、歩道拡幅の要望に、さらに加えて側溝の蓋掛けの新規事業を要望

することは事実上困難ではないかと思っております。できれば促進期成同

盟会の中で議論していただきたいと思っております。



第6回マリンバコンサートの様子



木村 繁 議員

# いっば

## 環境調和型農業の推進

### 木村議員

本町の農業・農村ビジョンでは、平成17年に59人の認定農業者数を平成22年末に80人にするとあるが、達成率と県内他市町との比較や割合を伺いたい。

またエコファーマーの経営安定支援策の拡充並びに特別栽培認証・JAS有機栽培等の環境保全型農業全般の町長の所見と方向性を伺いたい。

### 関町長

平成22年度末で、JAS認証者4戸、特別栽培認証者45戸、エコファーマー認定農業者が200戸、合計249戸で達成率は250%です。

県内の認定農業者は1万3693戸で、当町は14.2%で、県下10番目です。

県では平成26年度をめどに、認定農業者を100%目標にしていますが、町も、県やJASと協力し、JASの一括申請により、エコファーマー

認定を強力に進めることで、米の区分集荷が増え、米価が上り経営安定になると思います。平成23年度に、認定農業者が環境保全型に取り組んだ場合、10アール当たり8,000円の国の補助金交付が決まっています。

また、JAS認証者、特別栽培認証者で国の補助金対象外の方に10アール当たり3,000円の町単独補助金交付で、経営安定の支援策をしたいと思っています。

### 木村議員

認定された方々のリーダーシップを発揮できるような環境整備をお願いしたい。

### 関町長

認定者が積極的に環境保全型農業に取り組むことが、環境問題の解決になると思いますので、ぜひ進めたいと思います。

## 特産タケノコの生産振興策

### 木村議員

タケノコは、収穫の多い年と少ない年が、交互に繰り返される上、生産現場では高齢化が進み、出荷量の減少が心配される。特に、今年は大雪、イノシシの被害で39トンの出荷にとどまった。町長の所見を伺いたい。

### 関町長

獣害対策や新技術導入やモノレール設置、高齢者に対する対応や買取価格の最低保証制度導入や高付加価値のタケノコの生産、出荷が振興策として考えられると思います。

### 木村議員

買取価格補償制度はぜひお願いしたい。また、水仙への県下挙げての取り組みのように、今後はタケノコも、行政として音頭をとっていただきたい。

### 関町長

ボランティア制度の導入や最低価格の保証についてよく検討し、前向きに取り組みたいと思います。

### 木村議員

出荷量は平成16年度の137トンとピークにここ4年間は、100トンを下回っている。生産量増加と生産意欲向上のため皇室への献上品に加えてはいいかがか。

### 関町長

現在、宮内庁が新規の献上品を受け付けていないこと、その認定には、法



献上品に加えてほしいタケノコ



献上されている水仙



に基づき国会で承認を求めなければなりません。また、宮崎のタケノコは量、質とも全国レベルのブランド品とは言いがたく献上品として推し進めるのは非常に難しいと思います。

### 木村議員

国会での承認には、関町長の政治力で何とかできないか。

### 関町長

職員とよく相談したいと思っています。

# いっばん質問



飛田 良一 議員

## 合併後7年たった今、 越前町の今後の展望は

### 飛田 議員

私が越前町の有権者の方々のご支持を得て、議会に出させていただいてから早くも3年目。その間に私なりに議会の場で質問をさせていただいたり、間近にお話を聞いたりしてきましたが、無字でレベルの低い私には理事者の方々のおっしゃること、行動、議員対役職の方々の議会での対応の仕方に対し、納得のいかないことが沢山あります。70年余を生きてきて、戦争、天災と口では言えない程苛酷な中、貧困生活を経験してきました。今の日本及び世界の人間が贅沢になり過ぎ、その見返りで各地でいろいろな災害が起きています。

我が越前町も、原子力発電所の30キロ圏内に入る以上、一に安全、二に安全に暮らせる町づくりのために励んでいただ

きたいと思っています。

私は、政治の世界が金と関係のない世の中になるように、これからも頑張っていくつもりです。

そして、若者や女性が立候補できる世の中にしたいたいです。私の年齢で、金看板地盤はいりません。人間が地球上で、あと何十年いや何百年生存できるかは知りませんが、一日でも長くこの地球を守っていききたいのです。そのために、命のある限り私は闘っていきます。人間の世界は闇があるから光がある。そして闇から出てきた人こそ本当に光の有難さがわかるのだと私は思います。

### 関町長

確かに、越前町は合併してちょうど丸6年、7年目に入っておりますけれども、いろいろと地域によって個別の事情を抱えております。

また、一体感の醸成とか融和ということが、非常にまちづくりの最大の目標ではありますので、政策の効果とか、あるいは行政運営の効率という点だけでまちづくりを進めていくということも、少し問題があると思っております。

さりながら、一方では、大変厳しい財政状況にありますので、行政評価というようなことも取り入れていかなければならないという非常に苦しいジレンマに陥るところもございます。

この町の行政を預かっている立場として、自分に対してどういう資質あるいは能力、あるいは姿勢が求められているかというようなことをときどき考えることがあります。言うまでもなく、この越前町には非常に優秀な

人材、あるいは資質のある人、あるいは経験の豊富な人、知識の豊富な人、いろいろな人材がおります。

また一方、海あり山あり里あり、自然にも恵まれておりますし、歴史的な遺産や伝統文化などもございまして、比較的地域資源に恵まれた町であります。

福井市とかあるいは鯖江市、越前市などのような都市にも近くて、立地条件など大変恵まれていますので、こうした越前町の利点を活用しながら、ぜひ町民の皆さん方に今後の町の方向性、あるいはポリシーといったものについて、説得力ある説明をしながら、行政を進めていけたらいいのではないかと思っております。

何しろ我々には残された時間がかなり短いので、できれば特例期間内にこの町の一定の方向性を定めることができれば大変よいのではないかなという思いでおります。

そういう意味では、決断と実行力というの也是非常に求められているのではないかなというように思っております。

総合振興計画にも書いてありますように、海土里豊かな快適なまちづくりの実現に向けて、誠心誠意取り組んでいきたいと思っておりますので、ぜひ議会の皆様の後のご支援、ご指示をお願いいたします。





# 一部事務組合議会報告

## 鯖江広域衛生施設 組合議会

報告者 村上 義人  
召集日 8月22日

○正副議長就任

議長 平岡忠昭氏

(鯖江市)

副議長 村上義人

(越前町)

○平成23年度鯖江広域衛生施設組合一般会計補正予算(第1号)

資源物施設で使用する作業用タイヤシヨベルと粗大ごみ処理施設で使用する軽トラック購入費用

《補正額》1,000万円

○平成22年度鯖江広域衛生施設組合一般会計歳入歳出決算の認定

〔歳入総額〕

10億1,619万3千円

〔歳出総額〕

9億2,122万7千円

〔歳入歳出差引額〕

1億1,406万6千円

## 施設利用状況

### し尿処理

総搬入量

1万3,219kl

前年比 △4.4%

(下水道供用開始区域の拡大)

### 葬斎場

利用 887件

前年比 0.6%

### ごみ処理

総搬入量

3万1,754t

前年比 △0.7%

(ごみの減量化への取り組みの成果)

### 汚泥処理

総搬入量

5,572t

前年比 5.1%

○鯖江広域衛生施設組合監査委員の選任について  
上坂昭夫氏(越前町)

## 福井県丹南広域 組合議会

報告者 井上 信雄  
召集日 8月23日

○平成23年度福井県丹南広域組合一般会計補正予算(第1号)

情報処理と介護認定審査における国の制度改正に伴うシステム改修費

《補正額》

7,889万6千円

○平成23年度福井県丹南広域組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)

平成22年度繰越金を市町村圏基金に積み立てる

《補正額》

652万円

○平成22年度福井県丹南広域組合一般会計歳入歳出決算の認定について

〔歳入総額〕

10億5,562万2,957円

〔歳出総額〕

9億8,038万4,104円

〔歳入歳出差引額〕

7,523万8,853円

○平成22年度福井県丹南広域組合ふるさと市町村

圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

〔歳入総額〕

2,561万9,958円

〔歳出総額〕

1,908万9,216円

〔歳入歳出差引額〕

653万742円

○福井県丹南広域組合監査委員の選任について

山本雄治氏(南越前町)

○平成22年度福井県丹南広域組合一般会計事故繰越の報告について

## 鯖江・丹生消防 組合議会

報告者 黒田 文男  
召集日 8月26日

○平成23年度鯖江・丹生消防組合一般会計補正予算(第1号)

東日本大震災における消防団員等の公務災害補償組合負担金他

《補正額》1,984万円

○平成22年度鯖江・丹生消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

〔歳入総額〕

13億1,113万円

〔歳出総額〕

12億6,852万3千円

〔歳入歳出差引額〕

4,260万7千円

○平成22年度鯖江・丹生消防組合一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○交通事故に係る物件損害に対する損害賠償額の決定及び和解についての報告について

○鯖江・丹生消防組合監査委員の選任について

鈴木文夫氏(越前町)

## 東日本大震災に伴う 支援活動報告

派遣先

岩手県陸前高田市

派遣人員  
救急消防援助隊4隊  
25名  
(消防ポンプ自動車等)

加藤一邦氏(鯖江市)  
吉村春男氏(越前町)

## 公立丹南病院 組合議会

報告者 安井 賢二  
召集日 8月17日

○平成22年度公立丹南病院組合病院事業会計決算

の認定について

〔病院事業収益〕

37億5,210万6,540円

〔病院事業費用〕

37億688万8,944円

入院患者数

4万3,028人

前年比 ▲4.9%

外来患者数

16万5,079人

前年比 ▲0.8%

○平成22年度公立丹南病院組合病院事業会計継続費繰越計算書の報告について

○平成22年度公立丹南病院組合病院事業会計資金不足比率の報告について

○公立丹南病院組合監査委員の選任について

加藤一邦氏(鯖江市)  
吉村春男氏(越前町)

## 東日本大震災に伴う 支援活動報告

派遣先

女川町立病院

(宮城県女川町)

派遣人員

医師・看護師・

薬剤師

延べ116名

# 議会運営委員会委員研修報告書

委員長 内藤 俊三

研修日…7月20日・21日  
研修先…京都府木津川市議会・奈良県天理市議会

## ○研修の目的

議員定数などを含めた越前町議会の課題について取り組み、より開かれた議会を目指すとともに、議員活動の活性化と町民福祉の向上の為、一層見識を深めるため、議会基本条例を制定し、議会の活性化を図っている京都府木津川市議会、奈良県天理市議会を視察しました。

## ○研修内容

木津川市と  
天理市の取り組み

- ・「議会基本条例制定特別委員会」を設置し、議会基本条例の制定に向けて特別委員会を開催
- ・住民アンケートを実施
- ・議会基本条例に関する住民説明会を実施
- ・議会基本条例に関するパブリックコメントを実施
- ・試行的に議会報告会の開催
- ・議会基本条例制定

## 研修を終えて

特別委員会開催が月2回平均で開催されていることの大変さや、議会報告会試行における議事進行、資料の作成等は全て議員がしなければならない等の大変さを痛感しました。

全国的に、議会報告会、住民との懇談会等の交流を通して、行政や議会の情報提供に努めるとともに、住民の声を直接聞き行政に反映していこうとする議会が増えてきております。

県内の議会においても、越前市、おおい町はすでに議会基本条例を制定し、開かれたたれた議会を目指し活動に取り組んでいます。

今回の研修を参考にし、今後、議員の英知を結集し議会基本条例の制定に努力していきたいと思っております。



# 総務常任委員会委員研修報告書

委員長 山野 幹夫

研修日…7月13日・14日  
研修先…東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所(岐阜県瑞浪市)

## 高レベル放射性廃棄物の 処理について

本町は、敦賀原子力発電所から準立地に位置し、原子力発電の安全性はもとより高レベル放射性廃棄物の処理については更なる注視が必要となつてきます。

地層処分 of 安全性を追求し、その技術について研究開発を実施している東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所を視察研修し、本町の安全、安心な町づくり資することを目指しました。

## ○地層処分について

原子力発電所で使い終えたウラン燃料を、再利用できるウランやプルトニウムと、それ以外の不要物である高レベル放射性廃棄物に分けて、資源の有効活用を行うこととしています。

高レベル放射性廃棄物は人体に影響がないように処分する必要があり、最も技術的に実現性が高いことから、「地層処分」が選ばれており、日本では法律により、地下300mより深くに埋めて処分することが決められています。

## ○地層処分の安全確保の考え方

地層処分を安全に実施するために、地下について様々な角度から研究を行っています。

- ・石油・石炭などを掘る際に処分した廃棄物に近づいてしまわないよう地下資源のない場所を選ぶ
- ・火山や地震などで地下に処分した廃棄物が地表近くに持ち上げられたりしないよう、天然現象の影響を受けない場所を選ぶ
- ・処分した廃棄物が地下水に溶け出さないようにする

## ○地質環境の長期安定性に関する研究

日本の地殻変動や火山活動などの特徴やその影響の程度について様々な例を研究し、地質環境が将来どのように変化するかを予測する手法を整備することを目指しています。

高レベル放射性廃棄物の地層処分については、地層性分の安全性を追求していくことが重要で、日常の生活を営む上で最も身近で重要な問題であり、住民が安全な処分について知ることが大事です。

また、それと同時に福島原子力発電所の事故を踏まえ、敦賀原子力発電所から地震・津波への対策等を含めた原



# 産業土木常任委員会研修報告

委員長 北島 忠幸

研修日：7月5日・6日

研修先：岐阜県郡上市・富加町

研修日：9月27日

研修先：福井県おおい町・高浜町

## 道の駅の現状と課題

産業土木常任委員会委員は、岐阜県郡上市道の駅「明宝」、富加町の駅「半布里の郷」への視察研修を行いました。岐阜県は、全国でも北海道に次いで2番目に道の駅が多い県で、道の駅を地域振興の拠点施設として全国の方に観光情報や道路情報の提供などの発信をしています。

当日は、各々の担当部局より道の駅開設に至る経緯や運営形態等について説明を受けました。

### ○課題（2箇所共通）

- ・道の駅に隣接する道路の通行量及び利用者の確保
- ・利用者のニーズに合わせた体制づくり・年間通しての地域ブランドの創出
- ・説明後、運営に係る費用や採算性等についての質疑が行われ、今後を見据えた永続的な運営については、情報発信の強化や地域との連携等、特段の努力が必要になってくるとの見解でした。

今後は、視察研修で得たものを越前町の発展に役立てていくよう努めてまいります。



道の駅「半布里の郷」

現在当町において、アクティブプラン

ドを中心とした道の駅構想があることから、所管である産業土木常任委員会委員6名と議長・副議長・議員4名の12名で、嶺南2箇所の道の駅の実情を把握するため、視察を行いました。



### ①おおい町道の駅「名田庄」

#### ○課題

- ・冬季及び平日の利用客増加
- ・観光バスの誘致に向けた観光PRの充実
- ②高浜町道の駅「シーサイド高浜」

#### ○課題

- ・夏季シーズン以外の集客力のUPや施設の波及効果を含めた中長期経営計画、設備更新計画の策定

今回の視察を踏まえて、今後の越前町の方向性やあり方について寄与していきます。

| 自治体名 | 道の駅名称   | 年間利用者数 | 指定管理料(千円) |
|------|---------|--------|-----------|
| おおい町 | 名田庄     | 約10万人  | 42,000    |
| 高浜町  | シーサイド高浜 | 約34万人  | 26,000    |

## 町民に親しまれる議会だよりを

### 第74回町村議会広報研修会報告

委員長 上坂 昭夫

7月28日・29日にシェンバツハ・サポー（東京都）で、議会広報実務担当者を対象にした研修会が行われました。この研修会は、議会広報の向上発展を目的として毎年開催されていて、本町からも広報委員7名と事務局員1名が参加しました。

文章作成の基本やわかりやすい文章を書く、読みやすい表記を心がけるなどの講義と全国の議会だよりを例にしてクリニックを受けました。

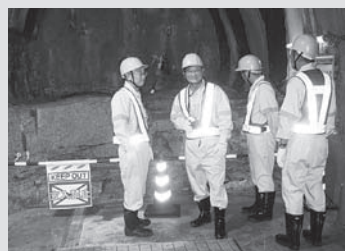
今回、この研修会で学んだことを大いに参考に、町民のみなさんに親しみやすく



興味をひく紙面づくりを心がけなければならぬと改めて感じました。

## 瑞浪超深地層研究所とは

日本の電気の約3分の1は原子力発電でまかなわれており、原子力発電所で使い終えた燃料からは、その再処理によって高レベル放射性廃棄物が発生します。原子力機構は、その高レベル放射性廃棄物を地層に安全に処分するための研究や技術の開発を行っており、瑞浪超深地層研究所では、地下の環境や地下深くでどのような現象が起こっているのかを研究する「地層科学研究」を行っています。



東濃地科学センター

原子力発電の安全性の説明と、情報の提供を求めているのも必要不可欠です。議会としては、今後も原発への原子力発電に関する安全性を求める要望や、情報公開、情報の収集、提供等に努め、気持ちも新たに、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与していきたいと思っております。

に寄与していきたいと思っております。



# 文教厚生常任委員会委員研修報告書

研修日:8月3日・4日  
研修先:資源エコロジーリサイクル事業協同組合(石川県加賀市)  
小矢部市野外運動広場(富山県小矢部市)

委員長 武藤 吉明

## 資源エコロジーリサイクル事業協同組合

日々深刻化していく環境問題に行政・住民・事業者が連携して先進的に取り組みを行なっている資源エコロジーリサイクル事業協同組合を視察し、「市民発・生ごみリサイクルで地域再生」の取り組みについて説明を受けました。

市内の学校給食施設や食品関連事業者、一般家庭から出る食品残さを車載型食品資源化処理装置で収集し、製造したたい肥は地元の農家へ販売され、農産物の生産に利用されています。また、剪定枝も回収し車載型食品資源化処理装置で食品残さを処理する際に水分調整剤として利用しています。

食品残さを焼却処理しないことにより、焼却処理量が減り、剪定枝の埋め立て量が削減され資源循環型システム社会が成り立っています。また、副産物として農作物の販売による農業活性化の一助となっています。

今回視察した資源エコロジーリサイクル事業協同組合が市民団体や行政と連携して行なっている「生ごみリサイクルで地域再生」の取り組みを参考にして、越前町環境基本計画に基づき循環型社会システムを確立していかなければならないと痛感しました。



搬入された剪定枝



車載型食品資源化処理装置

収集運搬車と処理を合体した車載型処理装置で、発酵は農地で行なうことから処理施設が不要となり作業員も1名で済むので、合理性と経済性を具備している処理装置

## 小矢部市野外運動広場（ホッケー場）

本町にあるホッケー場は全てウォーターベースの人工芝であるが、維持管理が簡易でコストも低く抑えられるサンドベース(砂入り)の人工芝ホッケー場を視察しました。

本町のウォーターベースの人工芝は、散水しなければならず年2回程度コートライン引き直しが必要ですが、小矢部市野外運動広場のサンドベースの人工芝は、かたよった砂をコートブラシで均すことと砂の補充を定期的に行なえばよいので、管理が簡易で経費も低く抑えることができます。



小矢部野外運動広場



本町のホッケーコートは全てウォーターベースで、3年～5年後には張替えが必要となりますが、その時はサンドベース(砂入り)を視野に入れて考える必要があると考えます。

| ●経費の比較 |          | 張替単価/㎡  | 耐用年数   |
|--------|----------|---------|--------|
|        | ウォーターベース | 10,064円 | 8年～10年 |
|        | サンドベース   | 4,883円  | 15年    |

# 12月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

暑い夏もいつしか過ぎ、朝夕めっきり涼しくなりました。今年3月に東日本大震災、8月には12号・15号の台風にみまれ、日本中災害の多い年でした。

そんな中、越前町では人的被害を受けるような大きな災害もなく過ぎ、秋の祭りや収穫の頃も終わり、山肌の色もだんだん色あせて寂しくなってきました。

議会だより26号は9月定例会、各委員会の研修報告を中心に編集しました。

また、原子力発電安全対策特別委員会、議会活性化特別委員会を作り今後の議会活動の話し合いが始まったところです。

(武藤)

議会広報特別委員会

委員長 上坂 昭夫  
副委員長 橋本 行夫  
委員 吉村 春男  
委員 鈴木 瀬春  
委員 笠原 文夫  
委員 黒田 樹男